

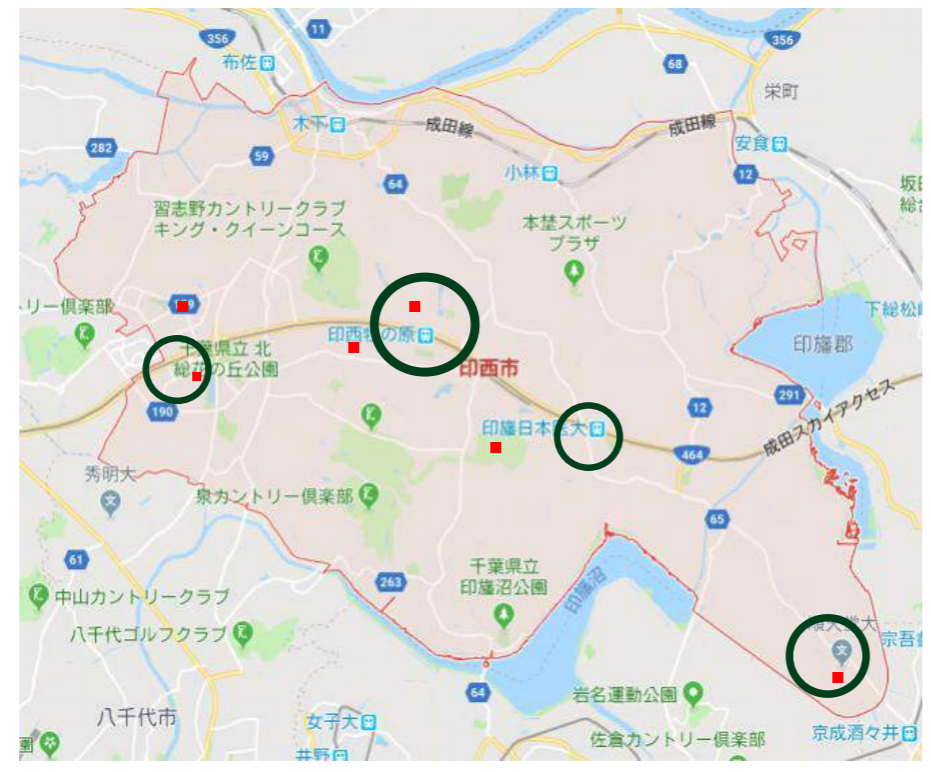
地域包括ケアシステム構築の一翼を担う ～印西総合病院の取組み～

印西総合病院 リハビリテーション部
末吉裕史

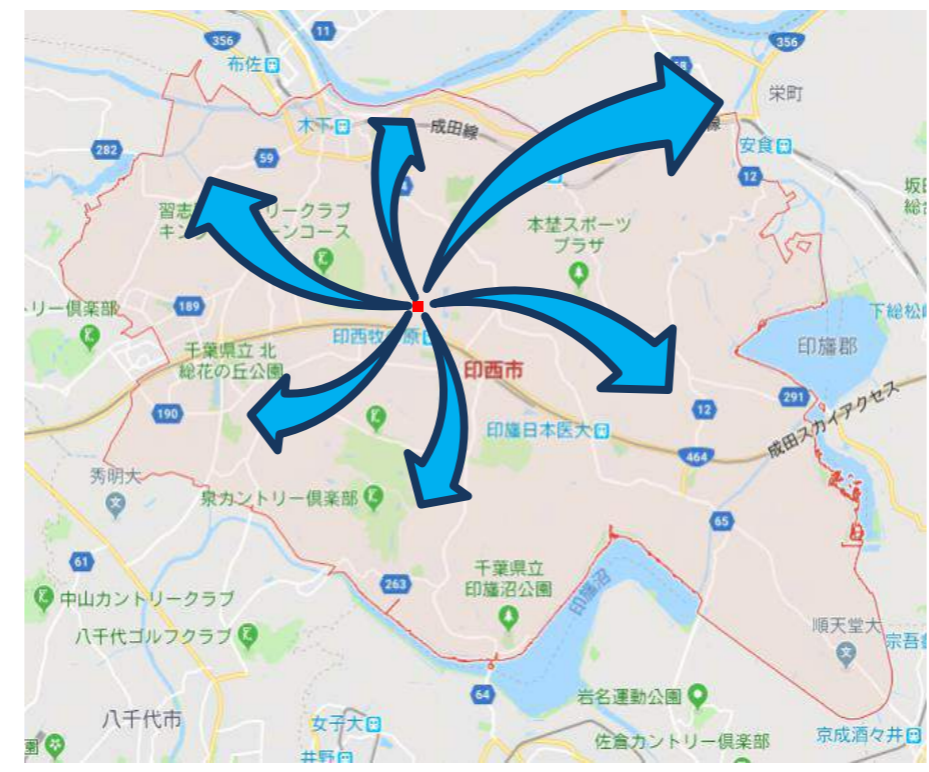
はじめに
印西総合病院は、平成27年3月に平成医療福祉グループ傘下にて再始動した病院です。一般病棟60床からスタートし、徐々に療養病棟・回復期病棟・地域包括ケア病棟を開設していき、現在では病床数180床となっています。
リハビリテーション部は、2名のスタッフからスタートし、現在では80名を超える人員となりました。経験年数の若いスタッフが多いですが、地域貢献を念頭に様々な取り組みを行っておりますので、紹介させていただきます。
感想・ご指摘などありましたら、お気軽にお声かけ下さい。



リハビリテーション科のある印西市内の医療施設は、わずか6施設



印西市は2018年に人口10万人を突破しました。○は、2050年まで人口が増え続けると予測されている地域

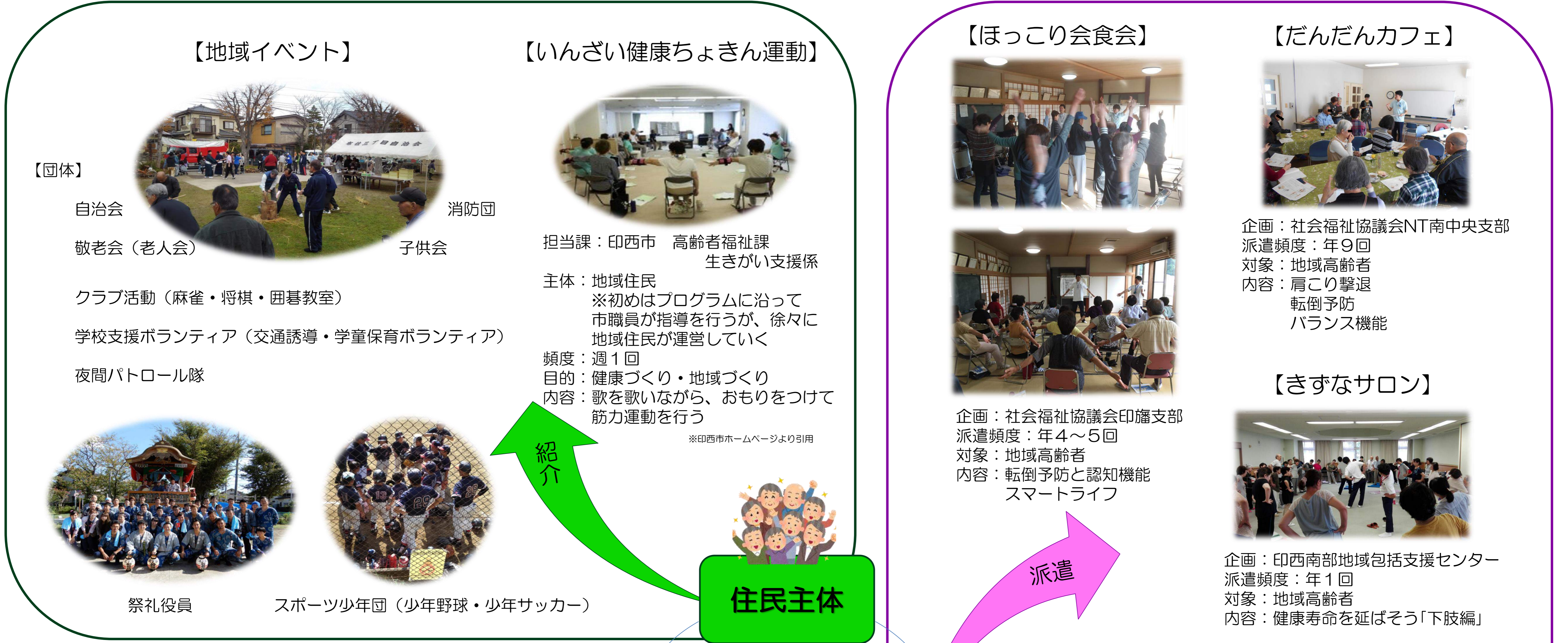


高齢化が進むと予測されている地区への、地域貢献が期待されている

地域住民の介護予防・自立支援の為に、積極的に地域へ出て行く必要がある！

その方法として・・・

- ①元々ある、住民主体の活動を **紹介** する
- ②行政主催の活動へ、スタッフを **派遣** する
- ③地域向けの、当院主催イベントを **企画運営** する



【リハビリ健康教室】

企画：リハビリテーション部
頻度：年3～4回
対象：地域住民
内容：体力測定会
認知症ケア
口腔嚥下機能
産前産後ケア
小児・親子教育

【地域の集い】

企画：リハビリテーション部 介護保険部門
頻度：年2回
対象：在宅支援事業所
内容：介護報酬改定後の対応
事例検討会(連携方法)

【地域公開セミナー】

企画：総務部
頻度：年2回
対象：地域住民
講師：医師
内容：夏ばてしにくい暮らし方
腸内細菌と私達の健康

【地域連携交流会】

企画：総務部
頻度：年1回
対象：地域の病院職員
在宅介護支援事業所
内容：病院紹介・見学会

『印西リハビリテーション連携会』

事務局：印西総合病院 リハビリテーション部
連携会メンバー

- 印西市役所健康福祉部
高齢者福祉課 生きがい支援係
包括支援係
健康増進課
- 日本医科大学千葉北総病院
リハビリテーション科
- 千葉新都市ラーバンククリニック
リハビリテーション科
- セコマティック病院 訪問リハビリテーション
印西サテライト

頻度：年6回
目的：
・全ての高齢者やその家族が、安心して地域に住み続けることができる社会の創造
・印西市内のリハビリテーション職が共同し、より良い地域包括ケアシステム作りを推進する

事業：
①リハビリテーション理念の啓発普及に関する活動
②リハビリテーション職種・他職種へ向けたスキルアップのための研修活動
③地域の関連団体との連携活動

今後の事業展望
・地域住民へ向けた研修や各種予防教室、集いの会の開催
・地域高齢者や地域連携に関する調査活動

【在宅系サービス】

通所リハビリ
訪問リハビリ
訪問看護
居宅介護支援事業所

【退院支援の取り組み】

企画：リハビリテーション部
地域連携室
対象：印西市・栄町の入所施設
内容：『入所施設マップ』
施設及び施設サービスの比較表
入所対象者
一日の生活リズム(24時間円グラフ)
リハビリテーションやイベント情報

『印西総合病院』

病床数(180床)
回復期病棟：85床
地域包括ケア病棟：35床
医療療養病棟：60床

診療科
整形外科・リハビリテーション科・内科
小児科・循環器内科・神経内科・外科
脳神経外科・皮膚科・耳鼻咽喉科
泌尿器科・乳腺外科・婦人科・眼科

【展望】

地域活動への参加 = 顔の見える関係の構築

地域住民との信頼関係構築 ↔ 他職種との連携強化 ↔ 施設間での連携強化

自立支援・介護予防の効果↑↑

地域住民が、いつまでも元気に暮らせる♪
(住民主体の活動が活性化♪健康寿命が延びる♪)

【今後の課題】

院内
・リハビリテーションの質の充実
・在宅系サービスの拡大
・他職種連携による退院支援の充実

院外・地域活動
・連携体制→顔の見える関係の強化拡大
・高齢地域→介護予防・自立支援事業の充実
・新興住宅地域→啓発活動(セルフケア・育児や子供の発達発達教室等)